

◇ 令和3年度指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「笠縫東」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	25,195,696円	/	26,972,939円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応)	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
施設HPアドレス	http://ayumi.hoikuen.to/nobikko.kasanuihigashi/		2年目	26,685,292円		28,083,395円	事業収益を保育や施設の維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応)	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
指定管理者名	社会福祉法人良友会		3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	平成14年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆☆
令和3年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
小学校敷地内の特色を活かして、子ども一人ひとりの小学校での様子を聞く等、連携を図ると共にのびっ子前の芝生や運動場、遊具を利用して安全に遊び場の確保に努める。送迎時の保護者とのコミュニケーションを通して、のびっ子、家庭、小学校の姿を把握し、保護者と共に子どもたちの成長を共有する。新型コロナウイルス感染予防対策に留意しながら、出来る限り、異年齢でのかわりを大切に生活や遊びを進めていく。		概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
小学校敷地内の特色を活かして、芝生や運動場で運動遊び(体幹)の活動を実施し、子どもたちの身体作りと健康維持に努めた。夏にはロクハ公園を利用してネイチャービンゴや焼きマシュマロ等自然体験や法人施設の笠縫東児童センターを利用しスカイプでのフィリピンとの英会話体験を実施した。(どちらも感染予防対策徹底のもと、少人数で実施)子どもたちの自主性を大切に毎日かわり、子どもたち企画、準備、進行の毎月の誕生会をはじめ、“お楽しみ会”を子どもたち皆と話し合いながら開催する。8月末ののびっ子内での感染拡大以降、自動水栓や飛沫防止板等対策の強化に努め、保護者、小学校ともより密にコミュニケーションを図りながら、子どもたちの体調管理、様子を支援員間で徹底することができた。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	基準に対してゆとりのある支援員配置を心がけ、新入所児、保護者が安心してのびっ子の環境、生活習慣を身につけられるように丁寧にかかわるよう努めた。法人内でAEDを利用し、心肺蘇生法、エビベン使用の研修を実施する。放課後児童支援員向けの研修に積極的に出席し、支援員全体で内容を共有した。	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。児童全体を見渡すため、ゆとりある支援員配置をされていた。また、独自に救命講習やエビベン講習等実施し、支援員の質の向上を図られた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	普段より各支援員で記入しているヒヤリハットを定期的(年2回程度)と他に、年度末には取りまとめたものを支援員全員で周知し、危機管理意識の向上に努め、移行への事故防止に繋げた。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。市が開催する研修にも積極的に参加し、また、独自でスキルアップセミナーを受講するなど支援員等の資質向上に努められた。
☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆			

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月の誕生会や季節の行事では子どもたちの自主性に任せて活動を進めることに努めた。夏休みには法人こども園プールやロクハ公園での自然体験活動等、季節に応じた活動を意識して計画、実施をした。各個人情報書類は鍵付き書庫、法人施設で管理をする等徹底した。	上半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時季に合ったイベントを実施された。イベントについては、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	毎月の誕生会や季節の行事では子どもたちの自主性に任せて活動を進めることに努めた。世界的な感染拡大の状況を考慮しながら年間通して、運動遊び(体幹)を実施して身体作りはもちろん、運動遊びの内容を日常の遊びに取り入れる等、保育の充実に努めた。	下半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時季に合ったイベントを実施された。イベントについては、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。
☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆			

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月のおたよりを各家庭に配布することはもちろん、法人内施設のおたよりをこども園、小学校へも配布し、保護者や関係機関との連携を図った。また、学期末には個別懇談会を実施し、小学校に個別の子どもの様子を伺う等、保護者と共に子どもの成長を共有できるよう努めた。メール、アプリの連絡網を導入し連絡の迅速化に努めた。	上半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられた。イレギュラー等が発生した際は、送迎時に保護者に報告された。また、メールやアプリを導入し、保護者との連絡手段を拡充された。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	毎月のおたよりを各家庭に配布した。また、誕生会、運動遊び(体幹)後は写真を掲示する等子どもたちののびっ子での様子を見えるように努めた。1月に保護者アンケートに協力していただき、保護者のニーズを把握し、次年度への取り組み準備に努めた。	下半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられた。個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆			

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	支援員による月2回の日常点検、年1回の年間点検を実施し、施設の維持管理に努めた。消防訓練では毎月の訓練をはじめ、セコムによる消防設備点検を実施した。支援員は出勤時の検温、健康観察を実施し、感染拡大防止に努めた。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回避難訓練の実施された。毎月児童に様々な防災のテーマの話をされた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	支援員による月2回の日常点検、年1回の年間点検を実施し、施設の維持管理に努めた。施設内の感染拡大後は自動水栓、消毒器の増大、飛沫防止板の設置等により安全に生活できるよう感染対策に努める。ヒヤリハットを取りまとめ、支援員で周知して危機管理意識を高めるとともに危険予知意識も高めることに努めた。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回避難訓練を実施された。毎月児童に様々な防災のテーマの話をされた。
☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆			